

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (甲信越)	◎	高級レストラン（経営者）	・秋らしくなり、小旅行や会食の機会も増えてくるとみられ、来月に向かっての予約状況も良くなっている。
	◎	その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	・万が一の場合は頼みたいという予約が、たくさん入るようになっている。加速度が付いたような様子である。
	○	商店街（代表者）	・毎年、11月中旬を過ぎて年末になると、商材が多少動くので、今年も期待している。
	○	スーパー（経営者）	・イベントもいろいろとあるが、全てで注文がくるわけではない。多少営業をして、受注していきたい。また、時給1500円は経営者としては大変困る。原材料、光熱費、人件費と高くなっていくのは、経営上、大きな問題である。
	○	乗用車販売店（経営者）	・新車供給の正常化が浸透し始めており、需要期の1～3月には買い控えていた層への販売が増加すると見込まれる。
	○	自動車備品販売店（従業員）	・冬のシーズンは、売上が天候に1番左右されてしまうが、前年暖冬だった分、今期の冬商財の売上に期待したい。
	○	スナック（経営者）	・いよいよ忘年会シーズンに入ってくるので、通常の月よりは売上も上がるのではないかと期待している。相変わらず、客が早く帰る傾向にあるため、昔のような2回転、3回転というようなことはないとみている。
	○	タクシー（経営者）	・年末に向けて会合等が増えるので、やや良くなる。
	○	遊園地（職員）	・パブリシティの獲得や、イベント開催等、積極的な集客施策の実施や情報発信を行うことで、より多くの来園客を期待している。
	□	商店街（代表者）	・年末に向けて取扱商材の値上げが続き、客の買い控えが心配である。
	□	百貨店（経理担当）	・しばらく現況と変わらないと推測する。ターミナル駅周辺再開発による商業施設開業の影響を引きずっていることと衆議院議員選挙で政局が不安定なことも、消費に影響を与えていると考える。
	□	百貨店（営業担当）	・客の様子をみていると、実質賃金が下がっているなかで、買物は慎重にならざるを得ない状況である。ただし、お金を掛けるものには掛けるため、日用品等はそれほど変わらないのではないかと。
	□	百貨店（店長）	・売上は前年実績程度が続いている。以前より旅行客は増えているものの、逆に高齢顧客が減っている。今後もこの流れは継続するのではないかと。店内全ての物が値上がりしており、顧客の購買力が落ちている。
	□	スーパー（店長）	・10月からの値上げもあり、買い回り傾向は直近と変化がないと考えている。
	□	コンビニ（店長）	・10月から最低賃金が若干上がったが、買う物自体、特別変わっていくことはないようなので、今後もそれほど変わっていかないのではないかと。よほど、天候の変化が大きくなってくれば、話は変わるが、そうしたことも特別影響がなければ、余り変わらないのではないかと。
	□	衣料品専門店（経営者）	・物価高で商店街に人の気配がない。
	□	家電量販店（店長）	・物価高の影響もあり、集客が見込めない。
	□	その他専門店〔酒〕（店長）	・暮れは多分忙しいが、3か月後の正月過ぎは、いつもなら売上は落ちる。今年は米国の大統領選挙がもうすぐ始まり、その結果次第で景気は左右されるという記事も見るとなかなか地方ではそういう感覚はないが、空気感に左右されることもあるため、2～3か月後に余り良くないのか悪くなっているのかは分からないが、変わらないのではないかと。
	□	一般レストラン（経営者）	・ぬるま湯につかっているような、中途半端なはっきりしない景気動向は、冷めることはないかとみているが、衆議院議員選挙の結果が大きく影響するのではないかと。
□	都市型ホテル（スタッフ）	・11月も今月同様、客の動きは鈍るとみている。恐らく、客は12月の年末にかけて、クリスマス、正月等、年末商材にお金を落としていくのではないかと。	
□	旅行代理店（副支店長）	・冬季の旅行受注が少なく、募集旅行等への参加が減少している。天候不順による農作物等の収穫への影響が旅行需要にも影響する地域のため、現状同様で悪い方向にある。	

□	通信会社（社員）	・テレビやインターネットサービスは引き続き横ばいとみている。年末年始の加入者数増加に向けた施策を準備する必要がある。
□	通信会社（社員）	・新商品発売も定例化しており、結果として前年と大差ない。良くも悪くもないが、上方に傾くのは厳しい。
□	観光名所（職員）	・人流が戻っても、光熱費の上昇や物価高などが家計を圧迫している。繁忙になっている割に、収入は変わらない。
□	ゴルフ場（副支配人）	・平日の来場者は高齢者が多く、所得が増えるとは考えにくいいため、今後も変わらない。
□	その他レジャー施設 [ボウリング場]（経営者）	・冬休みや年末年始に入っていきるので、にぎわいをまた取り戻していくのではないかと。
□	その他サービス [クリーニング]（経営者）	・日本では衆議院議員選挙があり、米国の大統領選挙もある。それらによって、世の中が大きく変わるとみており、注視している。
▲	一般小売店 [家電]（経営者）	・衆議院議員選挙も終わり、世の中が不安定で、物の値上がりの情報ばかりで、消費者の財布のひもは固くなる一方である。
▲	スーパー（経営者）	・そろそろ生活防衛意識が強くなりそうである。
▲	スーパー（副店長）	・寒い地域のため、灯油代やスタッドレスタイヤの買換え等、冬場はお金が掛かる。また、どうしても閉塞感があり、明るく景気の良い話はない。先日の衆議院議員選挙の結果による新たな政治に期待する。
▲	コンビニ（経営者）	・寒さが非常に厳しくなると、来客数が伸びず、売上の伸びも厳しい。
▲	コンビニ（経営者）	・秋はスポーツやイベント等が休日のたびにあって、人が動く。特に、3連休などは売上も前年と同じくらいあった。しかし、その分、平日は今一つといったところである。最低賃金が上がって経営者は大変になっているが、働くパート側も103万円、130万円の壁のせいで、時給の上昇分、就労時間を削られて、結局のところ、手取りは同じであるため、景気が良くなるとは考えられない。
▲	コンビニ（経営者）	・近隣にもう1店舗、競合店が出店するため、やや悪くなる。
▲	コンビニ（経営者）	・政治的な問題もあるだろうが、依然として、財布のひもは固くなっている。賃金が上がっても、税金等の控除金額が少なくなるわけではないため、いまだ節約志向から抜け出せないのではないかと。
▲	コンビニ（エリア担当）	・最低賃金の上昇は中小企業の営業努力では賄い切れない。
▲	一般レストラン（経営者）	・物価上昇や最低賃金の引上げ等、経営者側が付いていけない。
▲	観光型旅館（経営者）	・従来より、冬は地元団体の宴会等が主だったが、新型コロナウイルス感染症発生前から、急速に減少傾向が続いていた。今年の秋は団体需要が新型コロナウイルス感染症発生前に近い状態まで戻っていたが、冬の団体は地元企業の集まりや業界団体等が多く、こうした団体はコロナ禍を機に宴会をやめてしまったところが多い。当館の集客の中心は首都圏からの客だが、冬季はノーマルタイヤでは来館できないため、従来より首都圏からの客はほとんど来ないため、今後も大きな増加は見込めない。最近の冬季インバウンド客の増加は好材料であるものの、現状のように新型コロナウイルス感染症発生前を上回るような好調さを維持するには至らないとみているため、現在よりもやや悪くなると予想している。
▲	都市型ホテル（スタッフ）	・ここ数か月の減少傾向に関しては、他の食料品やエネルギーコスト高の影響か、ぜいたく品と呼ばれる物に使う金額が減少しているのではないかと、客の様子、来客頻度から推測している。そうしたことから、全体的な景況感が上向きにならない限り、少しずつ悪化していくのではないかと。
▲	都市型ホテル（スタッフ）	・例年1月はビジネスホテルの稼働率は落ち込む。ただし、当地域はかなりインバウンド需要があるようなので、上向きになる可能性もある。
▲	タクシー運転手	・2～3か月前までは、深夜2時頃までは多少動いていたが、9月、10月は夜12時といえはもう終わっている。非常に悪い。

	▲	住宅販売会社（経営者）	・別荘の問合せ、現地見学数が減少している。また、所有別荘の売却相談が増加している。
	×	商店街（代表者）	・これから先どうなっていくのか不安である。
	×	コンビニ（経営者）	・エネルギー価格高騰で、先行きが不安である。
	×	乗用車販売店（管理担当）	・賃金格差もあり、物価高のため、悪くなる。
	×	スナック（経営者）	・しばらくは不景気が続くとみている。既に給料の上昇した人たちがお金を使ってくれるようになるまで、良くはならないのではないかと。
	×	ゴルフ場（経営者）	・政局が不安定で、悪くなる。
企業 動向 関連  (甲信越)	◎	—	—
	○	食料品製造業（営業統括）	・予想より円安が進行しており、輸入品の価格が上昇した影響で、国産品はより有利に働くものと考ええる。
	○	金属製品製造業（総務担当）	・半導体が回復し、やや良くなる。
	○	電気機械器具製造業（経営者）	・2～3か月先の受注も入り始めている。例年、年末に向けて受注量が増加するので期待したい。
	○	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・ふるさと納税の注文が徐々に来っており、12月ギリギリまで注文が続くとみている。また、11～12月は催事も多く、売上増加に期待する。
	○	金融業（経営企画担当）	・取引先の業種にもよるが、多くの企業が年末に向けて業務が多忙となるようである。
	□	窯業・土石製品製造業（経営者）	・相変わらず見込みは未定である。クリスマスに向けて、ワークショップの予約に期待感はある。
	□	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・引き続き、新聞購読、折込出稿は前年比微減が予想される。旅行収入も国内旅行は前年比30%プラスが期待できるものの、海外旅行は前年同様に低調となる予想である。
	▲	食料品製造業（総務担当）	・原材料費の値上がりが続いている。
	▲	電気機械器具製造業（従業員）	・10月、11月と部材の値上げが再度あった。まだ完全に仕入価格に転嫁できていないが、原価の値上げにより、やや悪くなるのではないかと。
	▲	建設業（経営者）	・冬季になると、受注が落ち込みそうである。
	▲	金融業（調査担当）	・非製造業は観光関連を中心に需要の底堅さは続くものの、価格転嫁の動向や人手不足から慎重な見通しである。製造業では半導体や自動車関連需要の動向に弱さが残るため、やや悪化の見通しである。産業全体でも、やや悪化の慎重な見通しである。
	×	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・毎月の資金繰りが大変である。
	雇用 関連  (甲信越)	◎	—
○		職業安定所（職員）	・半導体関連産業の回復が予想されているため、やや良くなる。
□		人材派遣会社（営業担当）	・衆議院議員選挙の結果がどう出るかだが、世界情勢も含めて、変わらないのではないかと。
□		職業安定所（職員）	・観光シーズンや年末に向け消費行動は活発になるが、物価高騰に賃金上昇が追い付いていない。年金生活者も節約を強いられている状況であり、更に衆議院議員選挙の結果、米国大統領選挙の行方、中国経済の動向等、各種不安要素もあり、景気の先行きは不透明である。
▲		職業安定所（職員）	・有効求人数の前年同月比が、6か月連続で減少している。
▲		民間職業紹介機関（経営者）	・求人を含ん引する製造業において、円安による原材料や製品の値上がりが続く、国内での製品販売への影響が著しい。輸出への方針転換の検討をしている。
×		—	—